みんなの文芸

俳句・短歌を募集

7日必着

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 根岸茉莉 選　投稿数 19 句

新任地一駅歩く春の宵　皆野　島　弘

(評)新しい土地への赴任は期待や不安で複雑な心境です。町の様子を知ろうと一駅歩いてみる作者です。春の宵の淡い光が緊張感をほぐしてくれそうです。土地の人たちも温かく迎えてくれますよ。二句目、村娘が太田道灌に差し出した、あの山吹の話を思いました。黄色の鮮やかな山吹ですが、静かな佇まいの中に秘めた物言いたげな風情を感受性豊かな作者は見事に捕えました。“ありそうな”が良いですね。三句目、高山植物の石楠花の可憐な花を通して友と苦労して登った山々や、青春を謳歌していた頃を懐かしむ作者。高山の涼風を感じる爽やかな句です。

山吹や言ひたき事のありそうな　皆野　櫻井　早苗

石楠花(しゃくなげ)を愛でし登山の遥かなり　三沢　新井　民子

岬より見渡す初夏の海碧し　国神　鈴木　正文

緑なす山河麗わし父母の郷　皆野　根岸　詩子

薫風や浄瑠璃の首泣き落とし　皆野　太幡真由美

蝙蝠(こうもり)や暮天縫ひ綴ず散歩道　皆野　太幡琉美花

百年の記憶甦る昭和の日　三沢　新井　叶子

うぐいすの吟行応援雨上がる　皆野　悠利

闇の果て夜鷹は星と輝けり　皆野　萩原　初恵

日本髪胡桃の花は似合い相ふ　下日野沢　浅見　和雄

雨上がり雫光りて花みずき　下田野　新井　節子

夏迎えあの山この山雲急ぐ　国神　藤原マキ子

短　歌（投稿順）

親元を離れて学ぶ男孫(まご)おもひ焼くはピッツァと大きなむすび　皆野　引間　万亀

富士山が噴火のドラマテレビ見て半信半疑も防災備蓄　上日野沢　四方田利男

新緑の中を飛び来し雉子一羽花咲く庭を歩みてをりぬ　下日野沢　浅見　豊子

つつじ燃ゆ亡夫(つま)の剪定無きままに精一杯に色良く咲けり　下田野　新井　節子

地球儀を眺めつ思うこの星に紛争は消えて平和のあれと　皆野　萩原　初惠

雨の朝桜トンネル潜り抜け緊張の中発表会え　皆野　村田ハツ代

山々の日々緑増す故郷の平和なる幸命永らう　皆野　根岸　詩子

巡礼や道行く二人声高し方言混り声のみ聴こゆ　国神　藤原マキ子

子が巣立つ引っ越しの日の帰り道空いた助手席久しぶりの妻　皆野　大澤　貴夫

早々と蕗は日毎に茎伸ばし調理せし日の間近となりぬ　三沢　新井　民子

ほどほどの雨に勢ふ青葉山数戸の家を取り囲みたり　三沢　新井　叶子

正義ナシ公法なんて役立たず信じてるのは胸のドキドキ　皆野　林田　凛太

「説明がありますから」と警察署部屋の標示は取調室　皆野　打木　昭廣

史を追いてわれは何処へと歩むのか頁のあわいに影を探せり　皆野　太幡琉美花